

JRCだより

(青少年赤十字 Junior Red Cross)



文責：JRC担当 江口

平成30年JRC委員長が選任されました

昨年12月に新JRC委員長、副委員長の選考がありました。委員長には2年の峰松晏さん、副委員長には1年の岩崎菜摘さんが選任されました。今年からは旧委員長からの提案もあり、1年生と2年生の異なる学年をトップにした新たなJRCを作り上げていきます。



【新旧委員からの挨拶】

1年間、たくさんの人に支えられて任期を終えることができました。本当にありがとうございました。

この1年間、まだ歴史の浅いJRC委員会を私たちの手で創っていくことに、とても充実感を持っていました。キャップの回収ボックスを生徒下足室に置くこと、プロジェクトの計画や新しい取組方法など、今年度は改革の年だったような気がします。しかしそれらは、たくさんの方の支えと応援があったからこそできたものでした。気付けば、誰かが私の横にいて、支えてくれていたような気がします。今後、JRCがどのように成長するのかわかりませんが、今後の発展に期待しています。本当にありがとうございました。

3年 松添真愛

私は、今のJRC活動がどこでどういうことに生かされているのか？などの活動に対する理解をもっと深めるための活動をしていきたいです。また、JRC活動の幅を広げるために一円玉募金という世界の貧しい国を助ける活動も行っていきたいです。校内や地域だけではなく、世界に目を向けた活動を行っていきたいです。このような活動を行い、現在のJRCからもっともっと飛躍して、よりよいJRCをつくり、「清水中」＝「JRC」といわれるように活動していきたいです。

2年 峰松晏

私はこの1年間、JRC副委員長としてJRCの様々な活動の中心となって取り組んできました。私が特に力を入れてきた活動は、1年を通して行う「福島ひまわり里親プロジェクト」です。委員長と協力して活動を行う中で、私は相手を思いやることの大切さと新たな取組をするやりがいを知ることができました。JRC副委員長として活動したこの1年間は、私にとってとても貴重な体験となりました。

ありがとうございました。 3年 宮崎万由子

私は、困っている人や苦しんでいる人へ手をさしのべるJRC活動はすばらしいものだと思います。誰にでもある「優しい心」を生かせることができる活動をしているからです。私はJRC副委員長になったので、小さな手助けをたくさん見つけていけるようにがんばっていききたいです。そしてJRCがもっとみんなに広まって思いやりのある清水中になるようにこれからがんばっていきます！よろしくお祈りします！

1年 岩崎菜摘

青少年赤十字について知ろう⑩

ジュネーブ法について考える

前回のJRCだよりでは国際人道法について紹介しました。国際人道法はこのジュネーブ法のジュネーブ諸条約を中心にまとめられています。

【ジュネーブ法の概要】

①陸戦における傷病者の保護 ②海戦傷病者・難船者の保護 ③捕虜の待遇改善 ④文民の保護

第二次世界大戦で日本に落とされた二つの原子爆弾は明らかにジュネーブ条約違反ですが、その当時、ジュネーブ法はまだ制定されていませんでした。第二次世界大戦後、ジュネーブ諸条約が制定され、いまでも人民の平和を守っています。

■□□ ご報告 □□■

ペットボトルキャップ、プルタブは今年も変わらず回収しております。地域の方々も公民館や町内で集めたものを清水中学校に持ってきてくれます。生徒の皆さんもご協力をよろしくお願い致します。